



小金井市議会議員 渡辺大三 情報公開こがねい NEWS

「こんなときに…」怒る市民

西岡市長が市職員ボーナス引き上げ

西岡市長が、市職員ボーナスを0.05か月分引き上げ4.65か月分にする条例案を提出しました。

私は、新型コロナウイルスで市民生活が混乱し、顧客の激減や売り上げの大幅減少など、極めて甚大な被害が発生し始めている中、ただでさえ高額な市職員ボーナスを引き上げるべきではないと考え、「市職員ボーナスは引き上げず、年間4.6か月分に据え置く」との修正案を提出しました。

3月12日、総務企画委員会は、私が提出した修正案を、賛成5反対2で可決しました。

しかし、3月24日の本会議で、私が提出した修正案は賛成10反対13の僅差で否決され、市長提出の条例案が賛成13反対10で「逆転可決」されました。このことにより、昨年度も、本年度も、年1200万円を超える人件費支出増という事態になりました。市民からは「こんなときに…」「いったん可決された修正案を踏み潰してまで引き上げるなんて…」「コロナ対策もまったく不十分なのに…」と批判や疑問の声が上がっています。

ボーナスの引き上げに反対した議員

情報公開こがねい（渡辺大三）、自民党信頼（遠藤・湯沢・吹春・清水）、公明党（宮下・紀・渡辺ふき子・小林）、市民カエル（片山）

ボーナスの引き上げに賛成した議員

みらいのこがねい（鈴木・村山・岸田・沖浦）、共産党（板倉・水上・たゆ）、こがおも（白井・水谷）、市民会議（斉藤）、ネット（田頭）、改革連合（篠原）、緑つながる（坂井）

※五十嵐議長（自民党信頼）は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。以下同じ。

市民や議会に知らせず、こっそりと…

部課長手当 大幅アップ↑ 人口類似市中、最高額に

3月24日、小金井市議会は「議会に一切知らせずに、特別調整額（部課長手当）を引き上げた西岡市長に抗議し、反省と適切な措置を求める決議」を賛成12反対11で可決しました。同決議は、私が起草して他会派と共同で提出したものです。

西岡市長は、今年、特別調整額（市役所の部課長手当）を大幅に引き上げました。市民にも議会にも知らせず、こっそりと引き上げたのです。このことにより、部長手当も、課長手当も、多摩26市中で人口が類似する4市の中では最高額になりました。まさに、「税金の山分け」「大盤振る舞い」としかいいようがありません。

抗議する決議への賛否は以下の通りでした。

抗議の決議に賛成した議員

情報公開こがねい（渡辺大三）、自民党信頼（遠藤・湯沢・吹春・清水）、公明党（宮下・紀・渡辺ふき子・小林）、こがおも（白井・水谷）、市民カエル（片山）

抗議の決議に反対した議員

みらいのこがねい（鈴木・村山・岸田・沖浦）、共産党（板倉・水上・たゆ）、市民会議（斉藤）、ネット（田頭）、改革連合（篠原）、緑つながる（坂井）

※五十嵐議長（自民党信頼）は採決に加わらない。

した。①本来であれば、本年度の早い段階で市民や事業者を支援する補正予算を編成すべきだった。②事業者への事業継続支援給付金は、事業者にとって生命線になるものであり、給付の範囲や額について、市長は議会と事前調整を行うべきだった。③事業継続支援給付金は、他市でも例があるとおり、飲食店への支援や、売上減少の大きい事業者（自己所有物件での事業者含む）への傾斜配分など、すみやかに追加の支援策に着手すべきである。④図書館の図書消毒機を本館と貫井北分室に導入することのだが、全分室への配備も検討されたい。

1件目の決議案は全会一致で可決されました。

2件目の決議案は、一般会計補正予算（第4回）に対するもので、市長に対し、3つの問題点を指摘しました。①小金井宮地楽器ホール（市民交流センター）の各室の入場者数が制限される。大ホールは57%、小ホールは67～80%もの制限である。制限の割合に応じて利用料金の減免を図るべきである。②障がい者福祉事業所等職員と介護事業所職員に慰労品（5000円）を贈呈するとの提案は適切であるが、医療従事者や保育従事者への慰労品も必要である。③学生を支援するため駐輪場使用料の4月、5月分を補助することのだが、申請方法に懸念もある。補助希望者が漏れなく援助を受けられるようにすべきだ。

2件目の決議案は賛成18反対5で可決されました。採決態度は以下のとおりでした。

2件目の決議に賛成した議員

情報公開こがねい（渡辺大三）、自民党信頼（遠藤・湯沢・吹春・清水）、公明党（宮下・紀・渡辺ふき子・小林）、共産党（板倉・水上・たゆ）、こがおも（白井・水谷）、市民会議（斉藤）、ネット（田頭）、市民カエル（片山）、緑つながる（坂井）

2件目の決議に反対した議員

みらいのこがねい（鈴木・村山・岸田・沖浦）、改革連合（篠原）
※五十嵐議長（自民党信頼）は採決に加わらない。

「議会への請願・陳情は、郵送やオンライン提出を可能に」陳情書が不採択に

6月23日、小金井市議会は、市民団体が提出した「請願書や陳情書の「郵送」「オンライン」提出を可能とすることを求める陳情書」を、賛成2反対21で不採択としました。

陳情書は、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、議

会への請願書や陳情書を「郵送」や「オンライン」で提出することができるようにし、提出する市民と、受け付ける議会事務局職員の対面接触を極力防止すること等を求めるものでした。

現在、「郵送」「オンライン」提出が認められていないため、これまでも、自分で傘をさせない障がい者が、ずぶ濡れになって議会まで提出に来なければならぬなどの問題もありました。

陳情書に賛成したのは、情報公開こがねい（渡辺大三）とネット（田頭）の2議員のみで、他の会派は反対しました。あくまで「持ってこい」ということのようにです。

「コロナ禍の下、国民健康保険の負担軽減を」陳情書が不採択に

6月23日、小金井市議会は、市民団体が提出した「新型コロナウイルス禍の下、国民健康保険の負担軽減と制度の改善を求める陳情書」を賛成7反対15退席1で不採択としました。

陳情書は、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、「国保税を毎年増税する計画は中止し、見直すこと」「減免制度について、新型コロナウイルス感染症により収入が激減した場合も対象にすること」「子どもが多い世帯の均等割の減免制度を創設すること」等を求めるものでした。

陳情書に賛成したのは、情報公開こがねい（渡辺大三）、共産党（板倉・水上・たゆ）、ネット（田頭）、市民カエル（片山）、緑つながる（坂井）の7議員。退席は、こがねい市民会議（斉藤）。他の会派は反対しました。

「脱ムダ」で市政を変える！

市役所改革・議会改革に全力投球

■渡辺大三略歴 1966岩手県生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井第一中学校、東京都立小金井北高校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社で新聞記者。その後、衆議院議員秘書を経て、26歳で小金井市議選初当選（以降7期連続当選）。

【情報公開こがねい 渡辺大三 連絡先】
〒184-0012 小金井市中町 3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042(381)5074
watanabedaizou@gmail.com 公式サイト daizou.org
(Twitter、facebookへは公式サイトからどうぞ)